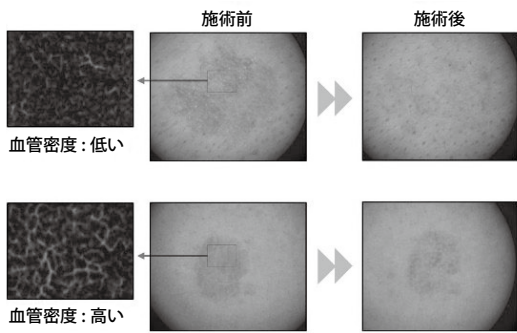


資生堂

シミ部位の血管密度と色素沈着の関係性を確認

資生堂は、東京女子医科大学講師の根岸圭医師との共同研究の成果として、肌内部の血管を3次元で観察する独自技術を活用し、シミ部位に存在する血管密度が高いほど、シミの色素沈着が改善しにくいことを発見した。同社はすでに先行研究においてシミ部位の血管がシミの形成に関与していることを明らかにしてきたが、今回はこの血管がシミの色素沈着の改善プロセスに対しても影響を与えることを発見した。これは、美白ケアにおける血管の重要性をさらに裏付けるものであり、今後ともこれまで長年培ってきた美白研究の成果を活用し、多角的なアプローチで明るく健やかな肌の実現を目指す。



レーザー治療があるが、色素沈着の改善度合いにはシミごとに個体差があり、事前に治療効果を正確に予測することは容易ではなかった。

そこで今回の研究では、肌を傷つけずに肌内部の血管を可視化する独自の光干渉断層血管撮影技術(OCTA: Optical Coherence Tomography)を用いて、真皮上層の血管密度とシミに対するピコ秒レーザー治療効果との関係性について解析を行った。

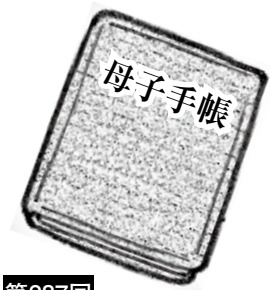
その結果、施術前の血管密度は、施術3カ月後のシミの色素沈着の改善率(メラニンの減少率)と有意な逆相関関係にあることがわかった。

現場で施術されるピコ秒レーザー治療の1つに、美容医療と有意な逆相関関係にあることがわかった。

働く女性の冷え悩みに寄り添うブランド

エステが展開する、冷えに悩む女性に寄り添うブランド「On Style」は、「おなか40℃」と「肩40℃」の売上が特に好調に推移している。また、9月に「おしり41℃」の

母子手帳



第287回

「On Style おなか 40℃」 エステー

「おなか40℃」の売上は前年を上回り、19年発売の「おなか40℃」も同等のスコアを



今年、既存ラインの強化や改良を図るとともに新商品を投入し、温熱ブランドとして独自のポジション確立を図っていく。

9月には「おしり41℃」のパッケージを刷新し、ざぶとんを敷くだけで温まる使用感の手軽さや、じんわりと温まる機能性を訴求。使用満足度の高い同品の魅力をアピールし、トライアルを促進して

カイトや医療機器全般が売上ダウンとなっていた一方、「おなか40℃」の売上は前年を上回り、19年発売の「おなか40℃」も同等のスコアを

コーサー 個々人のストレス耐性を判別する評価法を開発

コーサーは、文京学院大学人間学部長野祐一郎准教授との共同研究により、ストレスに対する皮膚温応答性を利用し、短時間で簡便にストレス耐性を判別する評価法を開発した。この研究成果を「皮膚温応答性を用いたストレス耐性評価の試み—アロスタシス理論に基づく分析—」(美容開発部 渡邊梨奈氏)というタイトルで第22回日本感性工学学会大会(2020年9月9〜11日、オンライン開催)にて発表し、優秀発表賞を受賞している。

ストレス社会といわれる現代だが、ストレスは適切な対処をすることが重要だ。研究では、ストレス耐やかに回復するというア

「おなか40℃」の売上は前年を上回り、19年発売の「おなか40℃」も同等のスコアを

「おなか40℃」の売上は前年を上回り、19年発売の「おなか40℃」も同等のスコアを

「おなか40℃」の売上は前年を上回り、19年発売の「おなか40℃」も同等のスコアを

「おなか40℃」の売上は前年を上回り、19年発売の「おなか40℃」も同等のスコアを

「おなか40℃」の売上は前年を上回り、19年発売の「おなか40℃」も同等のスコアを

コンドロイチン硫酸がシワ改善有効成分 「ニールワン」の働きを高めることを確認

ポーラ化成工業は、皮膚の中にコンドロイチン硫酸が存在すること「シワ改善有効成分NEー(ニールワン)」の働きが高まること「シワ原因となる細胞『好中球』を皮膚に集まりにくくする成分シクロヘキシルグリセリン(CHG)の働きが高まること」を明らかにした。コンドロイチン硫酸を増やすことで、スキンケアの効果を引き出せると期待できる。この知見は、今後のポーラ・オルビスグループの製品に活用される。



今回の研究にて短時間で簡便に個々人のストレス耐性を判別する評価法が開発されたことから、今後はストレス耐性のタイプに応じた心身への手入れ提案など、肌の状態だけでなく、顧客も気づいていない心の変化にも寄り添う美容提案やカウンセリングサービスの提供につなげていく。

